



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7722 URL http://www.kokusaikk.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 博司
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 進一 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,209	2.3	214	—	211	—	117	—
29年3月期第1四半期	2,160	△31.6	5	△98.4	△136	—	△105	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 100百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △392百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	8.37	—
29年3月期第1四半期	△7.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	16,480	9,799	58.9
29年3月期	16,448	9,838	59.3

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 9,714百万円 29年3月期 9,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	10.00	30.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,500	6.4	500	97.5	500	448.0	300	—	21.40
通期	12,000	8.2	1,400	45.8	1,400	46.3	850	55.1	60.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	14,200,000株	29年3月期	14,200,000株
30年3月期1Q	184,574株	29年3月期	184,574株
30年3月期1Q	14,015,426株	29年3月期1Q	14,015,426株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、企業収益や雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかな回復基調にあります。中東・朝鮮半島の情勢不安や欧州・米国の政治動向への不安など、その先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資につきましては、当第1四半期連結累計期間において、増加傾向で推移しております。また、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、依然として低燃費エンジンや燃料電池・電気自動車等、環境や省エネに配慮した研究開発分野への設備投資が集中しております。

このような状況のもと、当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバランスングマシンと共に、研究開発用の各種電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を、国内はもとより韓国・中国をはじめとするアジアを中心に積極的に展開いたしました。当第1四半期連結累計期間につきましては、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカーからの生産ライン用タイヤ関連試験機や国内の自動車部品メーカーからの電気サーボモータ式振動試験機を中心に32億7千8百万円（前年同四半期比11.8%増）の受注を獲得いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、22億9百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業利益は2億1千4百万円（前年同四半期は5百万円の利益）、経常利益は2億1千1百万円（前年同四半期は1億3千6百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億1千7百万円（前年同四半期は1億5百万円の損失）となりました。

売上高につきましては、中国・米国向けのタイヤ関連試験機などのバランスングマシンの出荷・検収が減少したものの、アジア向けバランスングマシンの出荷・検収が増加したことから、前年同四半期と比較して増加しております。

利益面につきましては、増収により売上総利益が増加したことや為替差損から為替差益に転じたことから、前年同四半期と比較して増加しております。

セグメントの状況は以下のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

中国向け生産ライン用タイヤ関連試験機の受注は増加したものの、中国・米国向けのタイヤ関連試験機の出荷・検収が減少し、アジア向けバランスングマシンの出荷・検収が増加いたしました。また、増収により売上総利益が増加したことや、子会社からの受取配当金が増加したことにより増益となりました。その結果、売上高は18億5千8百万円（前年同四半期比21.0%増）、セグメント利益（経常利益）は5億8千4百万円（前年同四半期は2千1百万円の利益）となりました。

〔日本（東伸工業株式会社）〕

原子力業界からのクリープ試験装置や腐食環境・強度試験装置などの受注は減少したものの、前年同四半期において、中国向けの大型案件が第2四半期へずれ込んでいたこともあり、材料試験機の出荷・検収が増加いたしました。その結果、売上高は9千6百万円（前年同四半期比544.4%増）、セグメント損失（経常損失）は3千5百万円（前年同四半期は1億2百万円の損失）となりました。

〔米国〕

日系の自動車部品メーカーへの電気サーボモータ式振動試験機の出荷は増加したものの、主力製品であるバランスングマシンは、日系の大手自動車メーカーやタイヤメーカーへの出荷及び米国の自動車部品メーカーへの出荷が減少いたしました。また、棚卸資産評価減計上の結果、売上高は1億8千8百万円（前年同四半期比48.3%減）、セグメント損失（経常損失）は6千万円（前年同四半期は7百万円の利益）となりました。

〔韓国〕

韓国の自動車部品メーカーへの電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が大幅に減少いたしました。その結果、売上高は2億8千1百万円（前年同四半期比46.8%減）、セグメント利益（経常利益）は4千9百万円（前年同四半期比58.4%減）となりました。

〔中国〕

中国国内のタイヤメーカーへのタイヤ関連試験機の出荷が大幅に減少したものの、モータ関連メーカーへのバランスングマシンの出荷は増加いたしました。その結果、売上高は1億8千2百万円（前年同四半期比37.3%増）、セグメント損失（経常損失）は8百万円（前年同四半期は1百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、111億6千2百万円（前連結会計年度末比1千6百万円減）となりました。これは、第2四半期以降に出荷を予定している仕掛品が増加（前連結会計年度末比6億3千5百万円増）したことや、売上債権の回収により現金及び預金が増加（前連結会計年度末比8億2千3百万円増）したものの、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比11億6千2百万円減）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、53億1千8百万円（前連結会計年度末比4千8百万円増）となりました。これは、株価の上昇により投資有価証券が増加（前連結会計年度末比8千7百万円増）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、52億4千7百万円（前連結会計年度末比2千3百万円増）となりました。これは、法人税等の納付などにより未払法人税等が減少（前連結会計年度末比1億7千2百万円減）したものの、受注の増加により前受金が増加（前連結会計年度末比1億2千5百万円増）したことや、仕入の増加により支払手形及び買掛金が増加（前連結会計年度末比8千万円増）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、14億3千4百万円（前連結会計年度末比4千8百万円増）となりました。これは、退任した役員の退職慰労金の支給などに備えるため役員退職慰労引当金を計上したことにより、役員退職慰労引当金が増加（前連結会計年度末比3千2百万円増）したことや、長期運転資金の調達により長期借入金が増加（前連結会計年度末比1千1百万円増）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、97億9千9百万円（前連結会計年度末比3千9百万円減）となりました。これは、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が増加（前連結会計年度末比6千万円増）したものの、為替換算調整勘定が減少（前連結会計年度末比8千1百万円減）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想につきましては、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,110,151	4,933,616
受取手形及び売掛金	3,838,853	2,676,836
商品及び製品	320,244	110,168
仕掛品	1,881,064	2,516,186
原材料及び貯蔵品	601,582	587,246
繰延税金資産	200,885	210,978
その他	232,648	133,537
貸倒引当金	△6,507	△6,294
流動資産合計	11,178,922	11,162,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,456,580	2,454,647
機械装置及び運搬具	231,136	230,104
土地	1,308,500	1,307,431
リース資産	3,036	3,036
その他	209,730	219,381
減価償却累計額	△1,439,736	△1,464,614
有形固定資産合計	2,769,248	2,749,985
無形固定資産		
その他	52,641	52,130
無形固定資産合計	52,641	52,130
投資その他の資産		
投資有価証券	360,045	447,645
長期貸付金	11,487	16,037
繰延税金資産	186	182
保険積立金	1,864,280	1,845,894
その他	344,909	347,041
貸倒引当金	△133,338	△140,501
投資その他の資産合計	2,447,571	2,516,298
固定資産合計	5,269,462	5,318,414
資産合計	16,448,384	16,480,691

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,805,321	1,886,137
短期借入金	1,090,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	354,774	329,739
リース債務	896	597
未払法人税等	314,632	142,471
賞与引当金	124,490	202,086
製品保証引当金	131,267	134,372
前受金	886,909	1,012,040
その他	515,858	439,815
流動負債合計	5,224,149	5,247,259
固定負債		
長期借入金	763,264	775,224
繰延税金負債	205,539	198,208
役員退職慰労引当金	182,783	214,804
退職給付に係る負債	222,504	234,260
資産除去債務	11,455	11,515
固定負債合計	1,385,546	1,434,012
負債合計	6,609,696	6,681,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	7,612,986	7,590,196
自己株式	△150,994	△150,994
株主資本合計	9,421,491	9,398,701
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210,949	271,704
為替換算調整勘定	125,307	43,996
その他の包括利益累計額合計	336,256	315,700
非支配株主持分	80,940	85,018
純資産合計	9,838,688	9,799,420
負債純資産合計	16,448,384	16,480,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,160,613	2,209,650
売上原価	1,416,948	1,367,263
売上総利益	743,665	842,386
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	50,426	35,456
貸倒引当金繰入額	—	6,998
役員報酬	50,600	40,158
給料手当及び賞与	168,215	128,658
賞与引当金繰入額	31,899	29,125
退職給付費用	5,927	10,403
役員退職慰労引当金繰入額	2,520	32,021
運賃	61,241	64,665
減価償却費	8,524	7,962
研究開発費	10,037	5,738
その他	348,887	266,533
販売費及び一般管理費合計	738,280	627,721
営業利益	5,384	214,665
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,273	9,224
為替差益	—	1,514
貸倒引当金戻入額	33,001	—
その他	4,631	3,734
営業外収益合計	49,906	14,473
営業外費用		
支払利息	4,070	3,036
売上債権売却損	2,083	1,164
為替差損	180,122	—
保険解約損	2,478	12,543
その他	3,090	1,204
営業外費用合計	191,846	17,948
経常利益又は経常損失(△)	△136,554	211,190
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△136,554	211,190
法人税、住民税及び事業税	31,674	136,651
法人税等調整額	△68,101	△46,624
法人税等合計	△36,426	90,027
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△100,127	121,163
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,156	3,799
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△105,283	117,364

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△100,127	121,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,461	60,755
為替換算調整勘定	△321,984	△81,032
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,028	—
その他の包括利益合計	△292,551	△20,277
四半期包括利益	△392,679	100,885
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△394,817	96,807
非支配株主に係る四半期包括利益	2,138	4,077

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	1,364,401	14,909	364,691	300,849	105,500	2,150,353	10,260	2,160,613
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	171,711	—	205	227,140	27,529	426,586	14,425	441,012
計	1,536,113	14,909	364,897	527,989	133,030	2,576,940	24,685	2,601,625
セグメント利益 又は損失(△)	21,325	△102,468	7,262	117,945	1,801	45,866	8,069	53,936

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	45,866
「その他」の区分の利益	8,069
セグメント間取引消去等(注)	△190,490
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△136,554

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が147,598千円含まれております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	1,631,280	96,082	188,409	157,294	131,286	2,204,352	5,297	2,209,650
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	226,760	—	228	123,841	51,407	402,237	11,192	413,429
計	1,858,040	96,082	188,637	281,135	182,693	2,606,590	16,489	2,623,079
セグメント利益 又は損失(△)	584,326	△35,174	△60,455	49,062	△8,875	528,883	△528	528,354

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	528,883
「その他」の区分の利益	△528
セグメント間取引消去等(注)	△317,164
四半期連結損益計算書の経常利益	211,190

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が334,227千円含まれております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バラシグマシン	1,377,418	△10.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	317,237	+4.8	日本(国際), 韓国
材料試験機	96,082	+544.5	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	135,484	+18.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	283,426	+48.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	2,209,647	+2.3	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

区 分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	2,163,522	+27.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	543,680	△13.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	101,016	△17.1	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	154,984	△43.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	314,914	+49.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	3,278,119	+11.8	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第1四半期連結累計期間末(平成29年6月30日)

区 分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	6,002,800	+12.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,240,531	△27.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	174,421	△27.5	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	587,744	△10.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	57,498	△34.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	8,062,996	+0.2	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

区 分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	1,377,420	△10.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	317,236	+4.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	96,082	+544.4	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	135,483	+18.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	283,426	+48.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	2,209,650	+2.3	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。